

インサイト・インベストメント・マネジメント

なぜ今、投資適格社債投資なのか

社債投資のジレンマ

投資適格社債は現在、スプレッドがタイトな水準にある一方、利回りは歴史的に高い水準にあります。債券投資において利回りは、多くの投資家にとってスプレッドよりも重要な要素であります。インサイト・インベストメント（以下、当社）は、利回りが社債投資におけるリターンの起点になると考えています。

■投資適格社債のスプレッドはタイト化



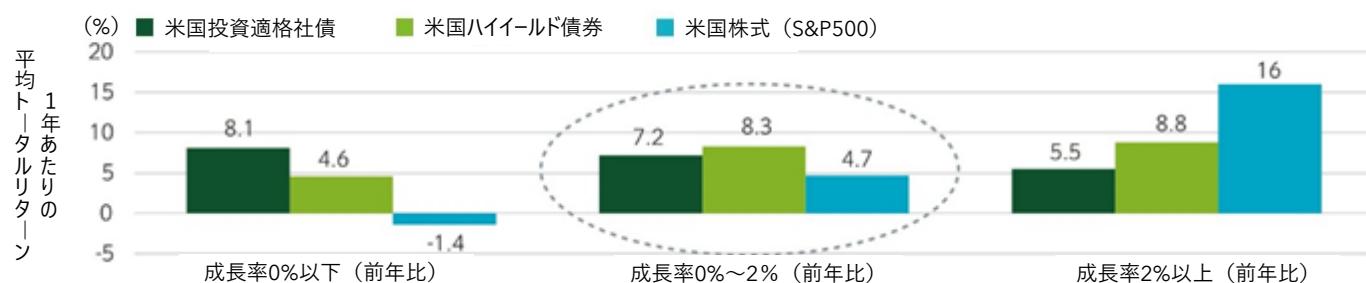
■一方、絶対利回りは引き続き魅力的



低成長環境下、投資適格社債投資は魅力的

当社は世界的に景気後退に陥るとは予想していませんが、景気は低迷すると見ています。ただし、プラスの名目成長率が続く限り、社債市場にとって景気減速は必ずしも問題ではありません。一方、株式投資にとって景気減速は利益成長率を維持できなくなるため、難しい投資環境となるでしょう。債券投資においては、いかに企業が成長を加速できるかよりも、債務返済能力があるかどうかが鍵となります。そのため、名目成長率がわずかにプラスであっても、社債投資にとって好ましい投資環境と言えます。歴史的に見ても、GDP成長率が0%～2%の期間、投資適格社債は良好なパフォーマンスを示す傾向がありました。

■歴史的にGDP成長率が低い環境で債券は株式をアウトパフォームする傾向（期間：1990年～2025年10月）



こうした投資環境は、アクティブな社債運用者にベンチマークを上回る付加価値を創出できる投資機会をもたらします。債券市場は株式市場に比べて構造的に効率性と透明性が低いため、熟練した運用者がミスプライスや非効率性を発掘する機会が多く存在します。パッシブ運用の台頭は、むしろこうした市場の歪みを增幅させています。社債市場は、相対価値に基づく投資機会がより豊富であり、ロールダウン効果をより獲得できる可能性もあります。そのため表面上の利回りに目を奪われず、ベンチマークを継続的にアウトパフォームしている、実績ある運用者を選定することが重要です。

インサイト・インベストメント・マネジメント

なぜ今、投資適格社債投資なのか

【1ページ目の図表出所】

上段左図・右図：インサイト・インベストメント・マネジメント、ブルームバーグ。2025年10月末時点

下段図：ブルームバーグ。米国投資適格社債：Bloomberg US Aggregate Corporate Bond Index、米国ハイイールド債券：Bloomberg US High Yield Corporate Index、米国株式：S&P 500 Total Return Index、期間：1990年～2025年10月

重要な情報

- 当資料は、インサイト・インベストメント・マネジメントが作成した資料をもとに、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が情報提供を目的として翻訳・作成した資料であり、一般投資家への特定の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当資料の内容は必ずしも原文の内容と一致するものではありません。
- 当資料に示されている運用成果、データ、見解等は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。第三者機関提供データに関して当資料の作成者は、いかなる保証・責任を負うものではありません。
- 当資料に記載されているいかなる見解も、その執筆者が資料作成時点に入手可能な信頼できると判断した情報に基づき記述したものであり、情報の正確性、完全性等を保証するものではありません。また、将来予告なく変更することがあります。
- 個々のポートフォリオ運用チームは異なる見解を持ち、顧客ごとに異なる投資意思決定を行うことがあります。
- 当社の書面による同意のない限り、いかなる目的でも当資料の全体または一部を、転用、配布することはできません。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第406号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会